

里山に咲く 1 千本の **シャクナゲ** が来週まで見頃 ~豪雨災害の翌年から始まった「祭り」は明日まで~

標高約 300mのうきは市浮羽町妹川の櫛ヶ平 (かしがひら) 集落の山の斜面に咲く約 1 千本のシャクナゲが見頃を迎えている。地元の堀江岩人さん(96)が約 50 年前から世話をしてきたが、2012 年 7 月の九州北部豪雨で崩壊。復興の願いを込めて、2013 年から地元住民が「祭り」を開くようになり 5 回目の今年は、今日と明日の 2 日間、地元産の山菜・野菜、団子汁などが販売されている。来週もシャクナゲ園は開放され、花が楽しめる。※市中心部から県道 52 号線を星野村方面に向かい、調音の公園手前 1 扣付近(「シャクナゲ祭り」ののぼりが目印)



▲山の斜面に咲く約 1 千本のシャクナゲが見頃を迎えている (本日、午前 10 時撮影)



▲明日までは、女性グループによる地元産のたけのこ、野菜、団子汁などの販売も

編集: うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980) 係長・瀧内宏治、重富結人 (瀧内: 携帯 090-7454-6381)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2017. 4. 15 発表 / 里山に咲く 1 千本の “シャクナゲ” が見頃